

# プラスチック

ビニール傘小町

ダンスは「ミシマ」を超えられるか？

PLASTIC



K-BALLET  
Op+0

# プラスチック

ペットボトル迷宮



神が遣わした舞人ジュリアン・マッケイ。

世界初演作品で新たな歴史を刻む。  
ペットボトル犬を連れて待望の再来日。



# PLAプラスチック

K-BALLET Opto 第2弾「プラスチック」

プラスチックを供養する時が来た！ 美神が見染めたジュリアン・マッケイ、至極の舞を奉納する

バレエの貴公子 ジュリアン・マッケイ。待望の再来日！  
K-BALLET COMPANY 現役トップダンサーたちと踊り尽くす。

## ペットボトル迷宮

振付・演出：アレッシオ・シルヴェストリン  
企画・構成・台本：高野泰寿

パリ・オペラ座が信頼を寄せる鬼才演出家アレッシオ、  
白タイツを脱いだ王子ジュリアンの新たな一面を魅せる。

米国モンタナ州生まれのジュリアン・マッケイは、当時外国人最年少の11歳で世界最高峰のポリショイ・バレエ・アカデミーに入学。ローザンヌ国際バレエコンクールで研修賞を受賞したのち、英国ロイヤル・バレエに入団。端正な容姿、厳格なロシアメソッドで培った技術、情熱的な表現力の三拍子そろった彼は、大家ナチョ・ドゥアトを虜にし、2016年、ロシア名門ミハイロフスキー・バレエに移籍、『パリの炎』『ジゼル』『海賊』などで主演を務めた。その実力はモード界をも魅了し瞬く間に「Vogue」「Numero」誌が特集を組むほどに。世界の主要劇場でゲスト出演する他、22年9月からはパリ・オペラ座元エトワールのローラン・イレルが芸術監督を務めるミュンヘン・バレエのプリンシパルとして活動している。現在、弱冠24歳のバレエの貴公子。

今回ジュリアンのために作品を提供するのは、5カ国語を操り、空海の書までも読み下す鬼才アレッシオ・シルヴェストリン。パリ・オペラ座創立350周年祝賀祭のオープニングを一任された彼は、エトワール・ユーゴ・マルシャンに現代能を演じさせ、極めて東洋的で超越した身体表現を引き出し、パリの観客を震撼させた。

本作は、極端にデフォルメされたポップでどこか「ナンセンス」な舞台演出をバックに、ジュリアンの真骨頂を発揮させるに違いない。ジュリアン、守・破・離。「離」ここにはじまる。



ジュリアン・マッケイ 飯島望未 日高世葉 堀内将平 成田紗弥

他 K-BALLET COMPANY

美の化身にして、さまよう魂の救済者たらんとする青年ジュリアン。  
ペットボトル迷宮の悪夢を鎮魂する……。

天地が赤く染まった海辺。打ち寄せる波……。いくつものビニールの球体が打ち上げられている。球体にはそれぞれ男女が生存している。彼らは互いに近づくことができず、弾き合ってしまう。褐色の布を巻いた若き僧ジュリアンが浜辺に現れ、その人々の姿を目にし、鎮魂の舞を天に奉納する。天地に轟音が響き海の彼方から小舟が姿をあらわすや、球体の膜が剥がれ人々は新たな動きを得る。若き僧侶と解放された人々は小舟にいた女の導きに従い、冥界と思しきところにたどり着く。が、百鬼の光を放つ巨大なペットボトルの精の群舞に見舞われる。その悪夢から覚醒を願う若き僧ジュリアンの舞……。

# プラスチックの百鬼夜行

ヒ ャ ッ キ ヤ コ ウ

にっぽんは、モノを大切に作る国だった。我々が山にも川にも、そして茶碗や人形にも、あらゆるものに神を見出していたからだ。森羅万象に「畏怖(いふ)」の念を抱く心が働いていた。だが、今では毎年東京ドーム100杯を超えるごみが家庭から捨てられる。その多くは便利で安手のプラごみ。無限に増産され、捨てられる。これは環境問題ではない。失われたにっぽんのこころの問題なのだ。行き場を失ったプラスチックたちが列をなして反乱する。プラスチックの百鬼夜行だ。今こそ、我々はプラスチックを供養しなければならない。

## ビニール傘小町

振付・演出：渡辺レイ  
企画・構成・台本：高野泰寿  
原案：三島由紀夫「近代能楽集『卒塔婆小町』」、太田省吾「小町風伝」

ダンスは「ミシマ」を超えられるか？

この作品は六本木の街でビニール傘を手にしたホームレスの老婆を見たことから生まれた。老婆はたぶん百歳近いだろう。老婆はゆっくりとまるで能舞台の橋掛かりを歩くように檜町公園に歩いていった……。物語は、壊れかけのベンチやプラスチックの廃品などが捨てられていた都会の小さな公園ではじまる。襦袢をまとった老婆が乳母車を押しながら現れる。ビニール傘を取り出し、なにやら怒り声なのか呪文なのかつぶやきながら一本ずつ傘を開き、置いていく。「だれ？ あたしの夢を覗くのは……あんだね。あたしに付きまとうのは深草の少尉さん。そうか、今宵は九十九夜ってわけね」。老婆は在りし日の愛の思い出を縁に生き、その小さな胸に訪れる恥じらいと生への確執を舞う。卒塔婆を尻にした小町のように老婆はビニール傘を尻に敷き、あるいは手に持ち空に昇っていく……。

この公園の老婆が、三島由紀夫の「近代能楽集『卒塔婆小町』」を連想させた。三島の「小町」は、能舞台を現代の言葉で解説するに止まり、何よりも小町を過去の遺物として葬ってしまったように思える。「小町」は現代を生きている。その老残の姿は「人生百年時代」を生きる私たちそのものだ。しかも私たちの生はビニール傘に象徴される安手で消費品的な生を強いられる哀しみそのものかもしれない。現代を生きる「小町」を私たちは表現したい。そして、踊りたい。

振付・演出の渡辺レイは、この老婆に、二十歳でも百歳でも変わらずに在る女の業、性を見出した。老婆の若かった頃の美しい思い出、思いを遂げられなかったことの呪縛、何も生み出せずただ消費するだけの人生、そして老いさばらえても生き続けなければならない哀しみ、それらを抉り出し見せつける。果たして救済(カタルシス)はあるのか。新たなドラマティック・バレエの誕生だ。



白石あゆ美 石橋斐也 山本雅也 小林美奈 杉野 慧

他 K-BALLET COMPANY

Photo: Hajime Watanabe, Nicholas MacKay

KAAT 神奈川芸術劇場〈ホール〉〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町281

公演日程 1月8日(日) 12:30開演 | 16:30開演 1月9日(月祝) 12:30開演

料金 S席9,000円 A席7,500円 B席3,000円(イス付立見席) \*全て税込

先行発売 オンラインチケット MY Bunkamura 10月2日(日)10:00~10月22日(土)23:59 一般発売 10月23日(日)10:00~

チケット Bunkamura オンラインチケット MY Bunkamura ▶ <https://mybun.jp/k-opto2> (座席選択可)  
チケットセンター ▶ 03-3477-9999 (オペレーター対応 | 10:00~17:00)  
チケットカウンター ▶ Bunkamura 1F (10:00~18:00) \*10月24日(月)以降  
東急シアターオーブチケットカウンター ▶ 渋谷ヒカリエ 2F (11:00~18:00) \*10月24日(月)以降  
チケットスペース ▶ 03-3234-9999 (オペレーター) チケットスペースオンライン ▶  検索

【公演に関するお問合せ】Bunkamura 03-3477-3244 (10:00~18:00)

主催：Bunkamura K-BALLET 提携：KAAT 神奈川芸術劇場  
未就学児童の入場不可。やむをえず、演目・出演者が変更になる場合がございます。公演中止の場合を除き、チケットの払い戻しはいたしません。

Bunkamuraを支えるオフィシャルサプライヤー

OMRON in 鹿島 KIRIN 大和証券グループ ENI 東急グループ

検索

チケットぴあ  
イープラス  
ローソンチケット  
チケットかながわ